

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束をしないケアの実践 転倒・転落防止で(数名)使用している。	指針で身体拘束0を掲げているためベッド柵を付けない方向で取り組むことが出来る。	就寝されてからの状況を一人一人再度検討し、ベッド柵を外す対応が出来るようにする。	12ヶ月
2		権利擁護に関する研修が不足している。	権利擁護に関する学習を定期的に行う為、 の外部研修も積極的に取り組むことが出来る	年間を通して、権利擁護に関する外部研修を受け、施設勉強会(月1回)で発表出来るようにする。	12ヶ月
3		人権教育・啓発活動の研修が不足している。	外部研修に積極的に参加し、記録・職員一人ひとりに周知する。	施設勉強会(月1回)の年間計画に入れ実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。